令和5年第4回市議会定例会

提出予定議案概要等

令和5年8月28日



9月補正予算 主な施策等

	補正予算額	累計
一般会計	6億382万円	492億7,074万4千円
全会計	7億4,570万5千円	1,077億1,562万9千円



世界に時めく 日本海側の拠点都市こまつ

- 自動運転バス購入. 遠隔監視機器導入等
- 小松駅 空港間 (P)1億9,030万円 自動運転バス運行費
- カウントダウンボートの設置、新幹線車両歓迎セレモニー
- 新幹線小松駅開業 (P) 100万円 プロモーション費
- 小松駅周辺の既存シェルター改修、ベンチ設置等

小松駅ターミナルプラン推進費 2.500万円

2

ものづくりが誇りの 産業創生都市こまつ

- 起業家向けの実践型支援プログラムを実施
- (P) スタートアップ企業等創業支援費 300万円
- 学校給食へ地元特別栽培米を提供(3→5カ月へ期間拡大)

地產地消,食育推進費

145万円

(P) スライド (新) 新規 拡拡充

ワンランク上の 3 生活空間あふれるこまつ

- スポーツ環境の向上、指定避難所の環境整備のため空調設備を導入
 - (P)(新) 小松市武道館改修費

1億5.880万円

資材価格. 労務単価の上昇に伴う事業費の増額

末広野球場改修費

3.018万4千円

- 7月12日の大雨により崩落した大倉岳高原スキー場の法面復旧工事
 - (P) スキー場災害復旧費

1.700万円



放課後児童クラブ職員の処遇改善対策等

放課後児童クラブ運営費

2.800万円

5

誰もが暮らし続けられる 生涯安心のこまつ

- 昭和50年建築の西出張所を移転建設(用地取得費等)
 - (P) 中消防署西出張所整備費

5.970万円

北陸新幹線小松駅開業に向けて

予算額:100万円

■ 小松駅開業関連のスケジュール ※ 金沢開業時参考

8月開業日発表※

9月 走行試運転開始

▶W7系・イーストアイが走行

12月 運行ダイヤ発表※

2月 試乗会※

予算関連事業

2024年春 北陸新幹線

小松駅開業

小松駅開業へのカウントダウン 駅ナカが新たな交流拠点に

- ▶ 駅構内を開業モードに装飾 ・看板・タペストリーをリニューアル
- ▶ カウントダウンボードの設置
 - ・県内統一カウントダウンボード設置 (小松駅・加賀温泉駅・金沢駅など 6 カ所)
- ▶ Komatsu 九グランドオープン (9/18)
 - 各種イベントの同時開催
 - *新交流ビジョンの発表



Komatsu 九



新たなデザイン



カウントダウンボード除幕式 (R5.3)



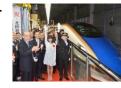
ビジネスラウンジ

機運を高めるイベントの開催 (石川県などと連携)

- ★ 新幹線車両歓迎セレモニー (10/1)
 - ・車両のホーム入線を市民でお迎え
 - •市内小学生から運転手への花束贈呈など
- 小松駅舎見学会
- 開業直前イベント
 - ・木場潟公園を会場に開催
- ▶ 開業日イベント
 - ・出発式や駅周辺でのおもてなしイベント



新幹線歓迎セレモニー (金沢開業時)



出発式(金沢開業時)

首都圏へのプロモーション

テレビやラジオ、雑誌などのメディアで全国PR

加賀市・能美市と連携した南加賀ブランドの魅力発信



東京タワーライトアップ

など

開業効果を広く持続的に

全国花のまちづくり小松大会(R6.5)

日本商工会議所青年部

全国大会加賀能登の國いしかわ小松大会(R6.3) など





Komatsu九 9月18日グランドオープン



観光案内所・ショップ・カフェ



ワークラウンジ



待ち合わせ、鉢合わせ、巡り合わせ

いつもの、久しぶりの、初めましての、ひと・モノ・情報 こまつと " もっと深く、おもしろく " 関わるための、出逢い・交流が生まれる場所

2023.9.18 Komatsu九 グランドオープン



フードエリア







情報ラウンジ(八日市地方遺跡展示・広域観光発信)

JR西日本不動産開発(㈱)6/1先行オープン

予算

未来技術で2大ターミナルを結ぶ 小松駅・空港間自動運転バス運行費

予算額:1億9,030万円

国土交通省「地域公共交通確保維持改善事業費補助金(自動運転実証調査事業)」 1億8,000万円(申請中)

自動運転レベル4に向け 取組を加速・強化

- •内閣府「未来技術社会実装事業」選定
- ・内閣府・デジタル庁「デジタル田園都市国家構想交付金」採択
- •経済産業省「デジタルライフライン全国総合整備実現会議」

プロジェクト紹介

国土交通省補助金の活用※

※補助決定は8月末~9月中を予定

- ◎ 自動運転バス導入 2台
- ◎ 遠隔監視機器導入
- 協調型自動運転技術実証導入 ほか
 - ・信号協調
 - ・路車協調システム[国交省実証実験に応募]



≪2023年度事業スケジュール(予定含む)≫

10月中旬~ 長期試験走行開始 ※当初はリース車両使用

11月 未来技術社会実装事業交流会 開催

(主催:内閣府、共催:小松市)

2024年1月~協調型自動運転技術 実証導入

乗務員向け運行トレーニング

2024年3月 出発式、定常運行開始予定

(レベル2:ドライバーによる監視)



最新EVバス BYD J6をベースに

自動運転バスへ改造

○ 乗車定員:25人

(当面は着席運用:客席15席+運転手1席)

○ 最高速度:70km/h

(自動運転時は当面35km/hで運用)

○ センシングデバイス

Lidar, IMU, GNSS, RADAR

物体認識用カメラ、 遠隔監視用カメラ ほか



2025年度以降 自動運転レベル4へ (システムによる監視・特定条件下における完全自動運転)



スタートアップ企業等創業支援費

予算額:300万円

~ 起業のハードルを下げ、起業家輩出等を通じた地域経済活力の向上を図る ~ 起業家育成支援プログラム

「Komatsu スタートアップラボ [KSU-Labo]」

スタートアップエコシステムを確立

- ▶「こまつ創業塾」と連携し、現役起業家による支援プログラム実施
- ▶プログラム最終回にはビジネスプラン発表によるピッチコンテスト開催
- コンテスト優秀者には事業資金として賞金を贈呈

	こまつ創業塾:インプット(基礎編)	
フェーズ	起業について学ぶ (経営・財務・人材育成・販路開拓)	
目的	経営知識や成功・失敗事例等を学ぶ	
時期	9月(1カ月間)	
主催	小松商工会議所	

Komatsuスタートアップラボ:アウトプット(実践編)

起業アイデア出し、ショートピッチ、事業のブラッシュアップ



実際に起業し、成果を創出

10月~3月(6カ月間)

小松市・小松商工会議所・㈱北國銀行(共同開催)

- ▶ 関係人口、移住・定住者の創出
- ▶ 新たな雇用の創出
- ▶ 学生ら若者のキャリアの選択肢を広げる

スポーツ施設の充実

予算額計:1億7,580万円

大倉岳高原スキー場の料金改定

条例 改正

☑ 改定のポイント

- ① 持続可能なスキー場運営のため料金体系を見直し
- ② 4時間券や3時間ナイター券の導入など利便性を向上
- ③ スキー人口拡大のため、大学生以下料金を設定
- ④ 通年利用拡大を目指し、オフシーズンの施設利用料を設定

料金改定(例) ※一部のみ掲載

・リフトI日券

3,700円 ⇒ 4,000円

- ・リフト4時間券 2,100円(旧半日券) ⇒ 3,000円
- ・リフトナイター券

- 2.100円 ⇒ 2,000円
- ※新ナイター券は18時から利用可(旧は16時)
- ·利用料金区分を「中学生以下」から「**大学生以下」**に変更

大倉岳高原スキー場 法面崩落復旧費

予算額 1,700万円

■被害状況

7月12日~13日の大雨により、スキー場内の 法面3箇所が崩壊。うち特に被害の大きかった 箇所はファミリーゲレンデの法面部分。

■復旧について

ブルーシート及び土嚢等で応急措置を実施済み 測量設計及び復旧工事を迅速に行い、営業開始までに完了予定

小松市武道館空調設備設置

予算額 880万円 (設計費) 1億5,000万円 (工事費)

■整備概要

近年、夏季における気温上昇が著しく、熱中症 予防の観点からもスポーツ施設における空調設備 の設置が求められている。

当該施設は、小松市の武道及び屋内スポーツの拠点であり、 避難所にも指定されているため、利用者の利便性向上及び 避難所としての機能強化を図るため、空調設備の設置を行う。





■工事概要

【空調設置場所】

剣道場、柔道場、さくらぎ体育室

【概算事業費】

1億5,880万円



【今後のスケジュール(予定)】

令和5年12月 実施設計完了 令和6年 2月 工事入札·契約

現場着手(施設利用停止)

6月 工事完成(施設利用再開)

来夏までの 設置完了を予定

中消防署西出張所の移転建設

予算額 5, 970万円

~西部地区(安宅、牧、板津)を管轄する梯川右岸で唯一の消防署所を整備~

移転候補地

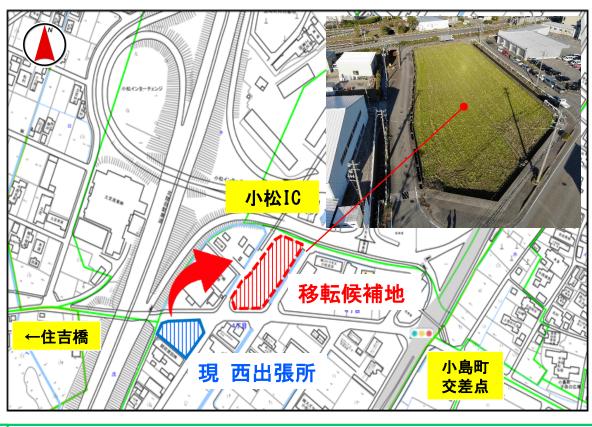
場 所 長崎町四丁目39番地 外

敷地面積 約2,853㎡

用途地域 準工業地域

現在用途 田んぼ





建物構想

構 造 RC造 2階建て

延べ面積 約650㎡

用 途 車庫(消防ポンプ車、救急車)

事務所、分団待機室等

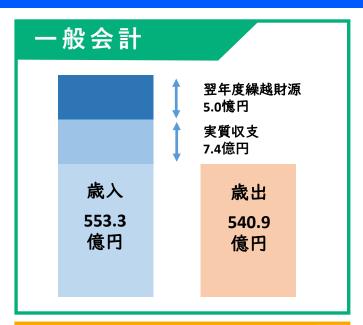
分団併設 第3安宅分団、第4牧分団

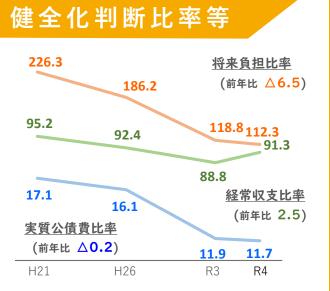
事業スケジュール

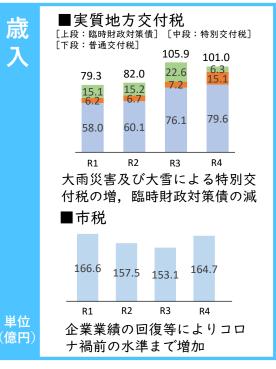
 R5年度
 R6年度
 R7年度
 R8年度
 R9年度

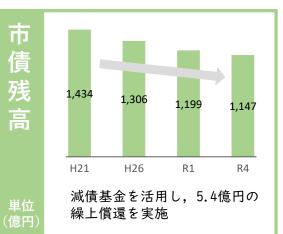
 用地取得
 開発造成
 実施設計
 着工
 竣工

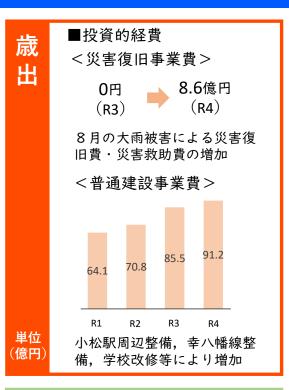
令和4年度の決算について

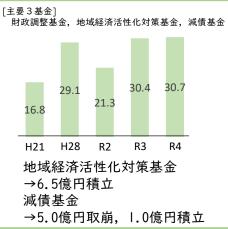












金

 \mathcal{O}

T七

U) 33

(億円)



スマートシティの推進

9/11 (月) 子育て応援 自治体マイナポイント事業開始

~18歳以下の方に 3,000円相当 のポイント支援~

(マイナポータルアプリ等で申込、受付後1カ月程度で付与)





- ■対 象 者 18歳以下(平成17年4月2日以降生まれ)で マイナンバーカードを保有している市民
 - ※法定代理人(親権者など)の決済サービスからも申込可能
- ■申請期間 9月11日(月)~12月25日(月)
- ■受取方法 マイナポータルアプリまたは決済サービスの アプリから申請



8/28 (月) スマート物流による配送開始





WEBサイトまたは電話で注文できます

当日9時~12時にご注文で、13時~17時お届け

- ■配送料 300円+購入代金の10%
- ■定休日 土・日・祝日

1 お名前

%090-8507-9271

- 2 ご住所
- 3 お電話番号
- 4 注文番号
- 5 個数

感染症への新たな取り組み

全国下水サーベイランス推進協議会への参画

Japan National Council for Promoting Wastewater Surveillance

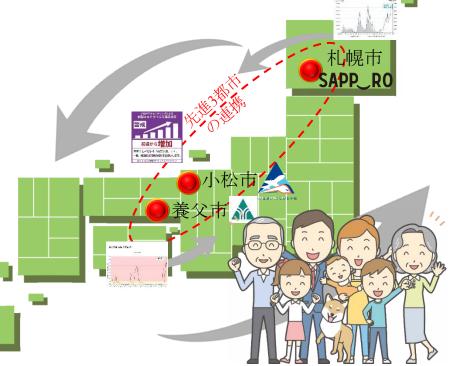
- 1 設立目的
- ・自治体と大学・研究機関が連携し下水サーベイランスの社会実装に向けた調査 研究・情報共有・データ共有・先進事例の全国自治体への水平展開
- ・関係機関に対する要望・要請活動を行い社会実装を促進
- ・市民・国民が安全・安心に暮らせるレジリエントな社会の構築に貢献
- 2 構成メンバー

(連携都市)

(大学・研究機関)

- ・札幌市
- ·東京大学(片山教授)
- ・小松市
- 金沢大学(本多教授)
- · 養父市
- · 北海道大学(北島准教授)







国際交流について



7/11~7/14

台湾へ代表訪問団を派遣

市、市議会、経済界から計16名

•彰化市(2019年友好都市締結)

ビジネスや観光・文化等の交流、小松台北便を活用した修学旅行や青少年交流、誘客促進につい て協議

•現地旅行会社、台湾観光協会訪問

本市を魅力をトップセールスし、本市ルートを盛り込んだ旅行商品造成を働きかけ

てい ぶんさん

・鄭 文燦 行政院副院長との懇談

商工業をはじめとしたさまざまな分野における 台湾との相互交流について協議





8 / 1 9 ~ 8 / 2 4

米国シリコンバレーを訪問





·現地企業等訪問

ベンチャーキャピタル企業等の訪問、在サンフランシスコ日本国総領事館では野口総領事とスタートアップの現状等について意見交換

・産官学合同シリコンバレー研修同行

現地企業人との意見交換、参加した学生等との交流を通じて、本市の課題解決についても協議



